

1 TFI+ の概要

- 県の保有するビッグデータを活用した課題解決型の公募事業を実施し、民間企業のノウハウや新しい視点を取り込んで、鳥取県から新たな林業イノベーションを展開することを目指すプロジェクト。
- 林業分野に限定したソリューション開発コンペは、全国自治体初の試み。
- 令和4年度から、日本の林業イノベーションを牽引する鹿児島大学の寺岡教授や柴崎CIO 補佐官や米澤CIO 補佐官に助言を頂きながら、システム開発部門とアイデア部門の2部門で公募し、令和5年3月に開催したコンペティションにおいて採択者を決定。
- 令和5年度はシステム開発部門で採択した提案について、県によるメンタリングの支援の下、試作品を開発中。

2 コンペティションの概要

- 開催日：令和5年3月28日
- 会場：とりぎん文化会館
- 募集テーマ

部 門	テ ー マ
システム開発部門	『県産材の生産量増大』 【テーマⅠ】用途別原木供給可能量の推定及び森林所有者への還元額の評価 【テーマⅡ】森林のCO ₂ 固定量と素材生産・流通工程等でのCO ₂ 排出量の評価
アイデア部門	『森林・林業に対する県民関心の向上』

- 応募者数
 - ・システム開発部門：3者
 - ・アイデア部門：2者
- 選考結果

選考委員5名により提案書とプレゼンテーションを審査し、各部門1事業者ずつ提案を採択。

部門	採択事業者	提案名	提案概要
システム開発部門	株式会社 マブリィ	森林における用途別の原木供給可能量の推定と流通システム	県が保有する航空レーザデータを自社計測の地上レーザデータ等により補正し、立木状態で用途別の原木供給可能量の高精度な推定を可能とするとともに、伐採した原木の検収データを連動させることで、川上側の木材生産から川下の木材利用におけるサプライチェーンの各段階におけるストック・フローを可視化した木材流通プラットフォームを構築する。
アイデア部門	アジア航測株式会社	生産者と消費者を直接つなぐマップ型オンラインショップシステムの開発	生産者・生産地の魅力や林産品購入による環境貢献度をマップ上で可視化し、それをオープン化することによる、生産者と消費者を直接つないだオンラインショップシステムを開発する。